

平成 27 年度 第 3 回 清瀬市史編さん委員会  
議事要旨

日 時： 平成 28 年 3 月 24 日（木）  
午前 10 時～12 時

場 所： 清瀬市健康センター第 1 会議室

出席委員： 根岸茂夫、栗山 究、浅倉直美、黒川徳男、高村聡史、谷口康浩、  
齊藤隆雄、齊藤靖夫、岡田耕輔、小西一午、中澤弘行（11 名）

欠席委員： 坂間和英、黒田一美（2 名）

事 務 局： 企画部長、市史編さん室長、市史係 2 名（4 名）

《次 第》

1. 開 会
2. 平成 27 年度活動報告及び平成 28 年度事業計画について
3. 『市史研究 きよせ』について
4. 平成 28 年度の委員会開催予定について
5. その他
6. 閉 会

《配布資料等》

1. 会議次第（平成 27 年度 第 3 回 清瀬市史編さん委員会 次第）
2. 各専門部会平成 27 年度活動報告・平成 28 年度部会活動計画【資料 1】
3. 市史編さん室平成 27 年度事業報告及び平成 28 年度事業計画【資料 2】

《審議経過》

1. 開 会

委 員 長           これより、平成 27 年度第 3 回清瀬市史編さん委員会を開催します。  
議題に入る前に、事務局より配布資料についてご説明いただきます。

事 務 局           （配布資料について説明）

## 2. 平成 27 年度事業報告及び平成 28 年度事業計画について

委員長 では、議事に移ります。

考古部会長 各部会の平成 27 年度活動報告及び平成 28 年度事業計画について、各部会からご報告ください。時代順に、まず考古部会からお願いします。考古部会では、今年度、市内の考古資料、遺跡に関する基本データの収集を行いました。また、既に報告書などの形で資料化されているものについて情報を時代順に整理し、カード化しました。資料カードの数を資料の欄外に示しました。作業が続いていますので暫定的な数ですが、縄文、平安時代の資料が充実していることがわかります。また、この作業と同時に考古資料編の構成について素案を練っているところですが、時代別の構成がよいのではないかと考えています。報告としては以上です。

平成 28 年度は、これまで発掘された資料について、実際にひとつひとつ現物と対照する作業を行います。資料はおよそのものは郷土博物館に収蔵されていますが、紛失や壊れないか等、概要を把握する基礎調査を進めていきたいと思えます。

並行して、きちんと遺跡調査されたものではない形で個人蔵あるいは寺や神社所蔵の遺物など未公開資料があるかと思うので、その把握も行いたいと考えています。

また、現地踏査、巡見を行い、遺跡の状況がどうなっているか把握したいと考えています。

委員長 ありがとうございます。次に、古代・中世部会お願いします。

古代・中世部会長 今年度の活動報告は、資料にまとめた通りです。

まず実踏調査により地形把握、史跡の確認などを行いました。また、市域の板碑所在調査、古文書調査については、市域を超えて広い範囲で調査を行いました。実り多い調査ができています。資料編の刊行が平成 31 年ですので、編集会議も相当回行いました。

残り 3 年で調査をして原稿化する必要があるので、平成 28 年度は板碑、古文書の調査を進めつつ、写真の整理、原稿化を進めていきたいと考えています。今年度の板碑の確認をふまえ、来年度は実際に板碑を具体的に調査することを考えています。古文書調査も続行いたします。

委員長／近世部会長 ありがとうございます。次に、近世部会について、私からお話します。

平成 27 年度には部会を立てられませんでした。依頼しようと考えている方々が他市の市史で今年度は忙しくしていたためですが、来年度はと思っています。活動としては、私のところで市内村野家の文書を預

かり、見ているところです。村野家の資料は郷土博物館に 400 点ほどありますが、その他に 200 点ほどが出てきました。幕末から近代にかけての資料で、書籍が多いのですけれども、なかには興味深い文書もあります。例えば、文政 9 年（1826 年）に代官が村で博奕<sup>ばくち</sup>をやっている人間、農業をおろそかにしている人間がいないか名主に調査させているのですが、そういうものはいませんと村中で誓約した文書があります。人名が並んでいるのですが、中に女性がいます。このような文書に女性が出てくる例などは珍しいものです。また、明治 2 年の上清戸村の絵図が出てきました。志木街道を中心に屋敷が並びその後ろに畑が広がっているようすがわかります。記載を見ますと道が何と呼ばれていたかがわかる貴重な資料です。こうした資料を確認しています。また、周辺の新座、東久留米、富士見の資料調査、江戸幕府関係の資料調査を行いました。

平成 28 年度は、郷土博物館にある近世の資料について、調査、撮影、また必要なものについては翻刻作業を行うなど、資料編の編集に向けて具体的な作業を進めていこうと考えています。

次に、近代部会をお願いします。

近代部会長

基本的には近現代いっしょになりますが、平成 27 年度は、まず市民の方からの聞き取りを行いました。今日も午後行うのですが、この後も続けていきたいと思っています。聞き取りについては、戦争に関することだけを切り取るのではなく、人物に焦点をあてて、どういう生活をされていたのかを含めた聞き取りにしたいと考えています。新聞等の調査も進めていますが、同時に各機関でどういう関係文献を持っているかの調査を行いました。今後も行っていきたいと考えています。10 月には市役所に保管されている行政資料、郷土博物館の資料調査を行いました。行政資料については、いろいろなものが残されていることを確認しました。ていねいに見ていきたいと思っています。そのほかに個人の資料についても明治の初期からのものがありますので、楽しみなものになっています。

国会図書館、東京都公文書館、外務省外交史料館などで清瀬関係の文献資料調査を行いました。戦中、また占領期について、病院関係、大和田通信所関係の資料をはじめ興味深いものがありました。

平成 28 年度も現在の活動を続行していく計画ですが、小学校所蔵資料の調査、病院関係沿革史などの調査、市内外の所蔵資料調査、慰霊碑、広報などの調査も行いたいと考えています。

委員長

ありがとうございました。最後に現代部会をお願いします。

現代部会長 基本的に現代部会は近代部会と一緒に活動してきました。補足として申し上げますと、まず新聞記事の収集についてですが、いわゆる大新聞についてはパソコンでキーワード検索できる時代になりましたので、実際の紙面にあたる調査対象は地方版に絞り、あとは文明の利器に頼ることにしました。

来年度は、今年度の活動に加え、金石文調査として、区画整理などの石碑、人物顕彰などがあれば見てまわり、調査したいと考えています。また、博物館の資料に明治初期からの日記があるので、項目を拾ったり、重要なものについては翻刻することを考えています。

委員長 ありがとうございます。では、続いて事務局から、市史編さん室の事業報告と計画についてお願いします。

事務局 市史編さん室の事業報告及び事業計画につきましては、別紙資料の通りです。

平成 27 年度は、市史編さん事業の進捗管理として、まず委員会を年 3 回、具体的には 5 月 21 日、10 月 29 日、3 月 24 日に開催しました。また、部会長による調整会議を 7 月 11 日に行いました。

資料収集・整理等に関しましては、各専門部会の先生方に行っていた報告を受けています。また、庁内各課の資料整理を継続的に行っています。そのなかで広報および議会から提供された写真の整理を市史編さん室で行いました。そのほか、資料の保存・管理という面では、村、町時代の議会の議事録の目録化を行っています。

また、市史編さん事業の普及に関して、『市史研究 きよせ』第 1 号を今年度発刊します。これから毎年、調査報告という形で発行していきたいと考えています。また、清瀬市ホームページにおける市史編さんブログ「市史で候」は、4 月から 2 月までに 12 のテーマで更新をしました。

備品の購入も行いました。資料収集、保存用に、カメラ、中性紙の文書箱、部会用に鍵付の棚を購入していますので、ご活用ください。

平成 28 年度は、今年度同様の事業を継続して行うほか、新たな取り組みとして、講演会や講座を実施したいと考えています。『市史研究 きよせ』に掲載することも視野に入れ、検討したいと考えています。啓発事業として、夏休みの子どもたちに向けた事業も検討予定です。

委員長 ありがとうございます。これまでの各報告および計画について、ご意見、ご質問はありませんか。

委員 板碑の調査のお話がありましたが、これは通史的な観点から、つまり民俗的な観点は別にして行うのですか？

市内の石塔には、調査整理がされないまま放置されているものがあります。市史では民俗は扱わない方針ですが、庚申塔や道標ほどの程度反映されることになるでしょうか。

前回の『清瀬市史』では、中清戸には庚申塔はないと書かれていますが実際にはあります。今回も市史で扱われなくなるとそうした調査も及ばないこととなりますね。また、個人の庭先にあつて知られていないようなもの、例えば馬頭観音などもあります、どうなるのか気になるところです。

古代・中世部会長 たいへん興味深く、また難しい問題で、どこの自治体でも課題のひとつになるところです。古代、中世、近世、近代と分かれますと、庚申塔ひとつどこへ入れるかという問題がまず出てきます。そして文字資料を資料編に入れるというのが考古以外は基本ですので、石塔については、そうした理由からなかなか加わってこない分野になっています。板碑につきましては、考古部会と調整しまして、古代・中世部会で調査することにしました。拓本を文字にして資料編に入れることを目指したいと思います。板碑以外のものについては市内のものをまだ確認していないのですが、明らかに年記があれば資料編に入れていきたいと考えています。

委員 例えば市内でボランティアを募って調査を行い、成果を市史研究に載せるというのも一法ではないでしょうか。そうすれば時代にとらわれずに市内の文化財、民俗的なことを入れていけます。小学生くらいからの歴史好きの人にお願ひできれば市史編さんにも興味を持ってもらいながらできてよいかもしれません。

委員 市民ボランティアによる研究会を盛んにしていくような形でなにか成果が出てくるとよいと思います。

委員 歴史に親しむ活動を通じて関心を持ってもらい、成果が市史に入れられていくのは望ましい形ではないでしょうか。ぜひ検討していただきたいです。

委員 博物館の資料について、お話が出ていましたが、前回の市史編さんの時に使った資料の一部で未整理のまま博物館に保管されているものもあります。それがどういうものか確認して活かすとすれば、今がよい機会かと思います。

委員長 ご提案ありがとうございます。

石造物の問題については、考古の問題でもあるし、近世の問題でもあります。具体的にどうするかは、部会間でまだ話し合っていないのですが、考古部会ではどうお考えですか。

- 考古部会長 遺跡の中から掘り出された出土品については、年代がわかり形式がわかるものは考古の資料編への掲載を考えていますが、出土品以外については、古代・中世部会の方でまとめて掲載していただく方がよいと考えています。それ以外の近世の石塔については、考古部会での調査は考えていませんでした。
- 近世部会長 石造物については、いずれ考えなければならない問題です。お寺の墓石ひとつとっても、17世紀の中ごろから出てくるのですが、形の変遷があったり、戒名の書かれ方も変わったりします。こういうものを見ていくと市域における家、家族のことを考える資料になります。そうすると石造物に墓石も調査対象に含めることになります。長命寺には増上寺から移転した墓石や石塔もずいぶんありますが、なかには、六代将軍家宣の正室の墓塔もあります。そうしたものもどうしたらよいか、検討課題になると思います。
- 委員長 他にありませんか。
- 委員 市民としては、調査の途中経過を話してもらえるとうれしいです。郷土研究会で「清瀬を歩こう会」をやっている感じですが、見て歩くなかで由来がわかるとより興味を示す人が多いです。普及啓発を含めた事業展開であるならば、各部会の調査の途中経過、今こんなことをやっていますという発表を、短時間でも聞いていただくことが関心を高めることになると思いますので、講演会などの企画の中に含めて考えてほしいです。また、市史ができてからも講演、講座は継続的に行ってほしいと思います。
- 委員長 事務局から、いかがですか。
- 事務局 市史編さんについて興味関心を持ってもらうために有効なご意見と思います。形式、PR方法を含め、実施に向けて検討したいと考えます。

### 3. 『市史研究 きよせ』について

- 委員長 『市史研究 きよせ』について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 創刊号の内容を目次に沿ってご紹介しますと、巻頭に市長挨拶、続いて委員長はじめ市史編さん委員の皆さんからのメッセージ、専門調査員である小川雄氏による論文「長命寺開山感嘗存貞に関する考察」、次に「清瀬の昔をきく」と題して団体代表委員・専門部会代表による情報交換会の報告、新たな資料を紹介するコーナーとして「きよせ懐かし写真館」と題して議会事務局から提供を受け市史編さん室で整理した昭和40年代ごろの写真、北多摩郡に清瀬村が誕生してからの主なできごとをまとめた年表、専門部会の活動報告、巻末に「市史編さん覚

書」として、基本方針、委員会開催状況、附帯事業である市史編さんブログ「市史で候」のタイトル一覧、関係者名簿、という構成となっております。これから最終的な調整をして印刷、発行となります。印刷につきましては、12月にぎょうせいデジタル株式会社と契約し、500部作成する予定です。販売価格については、他市のこの種の書籍の状況などを勘案して一部300円程度で設定したいと考えています。

委員長 この件につきまして、よろしいでしょうか。  
委員 了承。

#### 4. 平成28年度委員会開催予定について

委員長 それでは、続いて平成28年度の委員会開催予定について、事務局からお願いします。

事務局 平成28年度の清瀬市史編さん委員会につきましては、今年度同様、年3回の委員会開催を予定しています。5月、10月、3月の開催を考えております。具体的な日程につきましては、調整のうえ早急にご提示したいと考えています。

委員長 ありがとうございます。

#### 5. その他

委員長 それでは、残る議題「その他」に移ります。

まず、普及啓発版について検討したいと思います。

計画では平成32年度に普及啓発版を作ることになっています。前々からこの委員会でも出ているのですが、それが要約版であるならば通史の後に発行する方が良いのではないかという意見もあります。一方で、平成32年度は市制施行50周年にあたり、この年に何かしら出したいということが、編さん委員会ができた時からの指針になっています。普及啓発版については、市民参加で何かつくるようなものという意見がありましたが、他に普及啓発版についてご意見ありますか。

委員 急がないと、残された時間はわずかです。この地に80年住んでいても知らないこと、わからないことがたくさんあります。昔からあるが、いつごろから、なぜそこにあるのか、なぜその名前と呼ばれるのかといったことがわからないもの、普段見過ごされ重要視されていないものもあります。言い伝えもだんだん忘れられていきます。こうしたものがわかるようなものをこの機会に出せたらと思います。

委員 平成32年に刊行することが重要であるならば、その段階での最新情報が出せればよいのではないのでしょうか。暫定版といった形で、時系列

ではなく内容別の編集で出すことはできると思います。要約版は通史刊行の後からでもよいのではないのでしょうか。

委員 以前の委員会で話し合った通り、今回の市史編さん事業で扱わないものがあります。市史編さんの範囲はここまでです、と範囲を明言しておくことが必要と思います。今回の市史編さんが対象としないものについては、専門部会の先生方の調査は及びませんから、その分野については博物館で学芸員が中心になって何かやるなり、ボランティアを組織してやるなりしてくださいというメッセージを、ここから発信することが必要だと思います。

委員 平成 32 年、市制施行 50 周年に、こういうことをやっている、というアピールをすることが大切と考えます。平成 32 年に刊行するものと、要約版と、両方を出すことになると思いますが、いかがですか。

副市長 市制施行 50 周年の年には何か記念になるものがほしいと考えています。最終的に市史がまとまれば、要約版がよいのか、何らかのものを発行する考え方はあります。

委員 刊行物に限定しない意見でもよいのでしょうか。清瀬を歩いていて感じるのですが、史跡についての説明書きがほしいです。円通寺や八幡神社には表示はありますが、字が消えてほとんど読めない状態です。これは、こういう時代のこういうもの、という簡単なものでよいので、一つ一つに付けることが、市民に向けてのメッセージになると考えます。表示すべきものを先生方の調査の中で示していただき、実現の方向に向けていただきたいです。

委員 いずれにせよ本編と違って分厚いものにはできないと思うので、何を織り込んでいくか十分な内容検討が必要と思います。

委員長 平成 32 年には何かを、ということで、今日出されたご意見を参考にしつつ事務局と調整して、次回の委員会でたたき台を提示したいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 了承。

委員長 他に何かありますか。

考古部会長 別件でお願いがあります。平成 28 年度から、巡見の形で遺跡や寺、神社を歩きたいと考えています。その中で私有地に入ることもあろうかと思っています。ここに資料があるとわかっているところについては、前もって事務局を通じて依頼ができるのですが、巡見では当日のなりゆきになることがあります。他市の例ですが、巡見の際に畑で遺物を拾ったりしたことで地権者に激怒されたことがあります。市史編さんのための調査をしているということがわかるようなものがあると



助かります。例えば、資料収集を呼びかける「こんなものをお持ちではありませんか」というチラシを、巡見の時にその場で配れるのもよい方法だと思います。市民の方とのトラブルを避けられるような工夫をしていただければと思います。

- 副市長 考えましょう。他市ではどういった工夫がありますか。
- 委員 市によっていろいろです。期間を区切った調査であれば、まず広報で調査の事を地域の方々に知らせていただいて、回覧板や放送などで連絡した上で、腕章をつけて行うことがあります。不定期の調査の場合はケースごとの対応になります。
- 委員 腕章は、どこからも見えて有効です。
- 委員 市報より回覧の方が、効果が高いと思います。巡見する地域がわかれば前もって回覧で調査について知らせることができます。
- 副市長 良い方法で対応したいと考えます。

## 6. 閉会

- 委員長 他にありませんか。なければ、これもちまして平成27年度第3回清瀬市史編さん委員会はこれで閉会といたします。ありがとうございました。

各専門部会平成 27 年度活動報告・平成 28 年度活動計画

## ■考古部会【平成 27 年度活動報告】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
考古資料・遺跡データの集成	考古資料・市史関連情報の収集	考古資料・市史関連情報の収集	考古資料・市史関連情報の収集	考古資料・市史関連情報の収集
既報告資料の資料カード作成	「強清水遺跡」、「清戸下宿遺跡」、「野火止野塩遺跡」、「伊勢遺跡」カード化作業(終了)	「野塩西原遺跡」、「野塩外山遺跡」、「野塩前原遺跡」カード化作業(終了)	「下宿内山遺跡」カード化作業	「下宿内山遺跡」カード化作業(3月末に終了予定)
考古資料編の構成案作成			構成案の検討	構成案の作成
考古部会・打ち合わせ		考古部会を8月26日に実施。打ち合わせを9月29日に実施。本年度作業方針の確認、次年度作業計画書の検討	打ち合わせを2回実施(10月27日、12月15日)。次年度作業計画書の作成、考古資料編構成案の検討	打ち合わせを1回実施(2月18日)。考古資料編構成案の確定

### \*作成資料カード数

旧石器時代：2遺跡 12枚

縄文時代：6遺跡 230枚

弥生時代：1遺跡 2枚

平安時代：4遺跡 166枚

鎌倉～安土桃山時代：2遺跡 52枚

江戸時代以降：2遺跡約 280枚 \*現在作業中のため暫定数

■ 考古部会【平成28年度活動計画】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
既報告資料基礎調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館収蔵資料調査(調査員雇用)</li> <li>・出土資料の確認・選定</li> <li>・再資料化の要不要の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館収蔵資料調査(調査員雇用)</li> <li>・出土資料の確認・選定</li> <li>・再資料化の要不要の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館収蔵資料調査(調査員雇用)</li> <li>・出土資料の確認・選定</li> <li>・実測・写真撮影(外部委託)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館収蔵資料調査(調査員雇用)</li> <li>・出土資料の確認・選定</li> <li>・実測・写真撮影(外部委託)</li> </ul>
未公開資料調査等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査</li> <li>・市外所蔵資料の追跡調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査</li> <li>・市外所蔵資料の追跡調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未公開資料調査</li> <li>・資料の確認・記録・選定</li> <li>・実測・写真撮影(外部委託)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未公開資料調査</li> <li>・資料の確認・記録・選定</li> <li>・実測・写真撮影(外部委託)</li> </ul>
遺跡現地踏査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地踏査</li> <li>・未調査遺跡の確認と記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地踏査</li> <li>・未調査遺跡の確認と記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古環境調査(地形地質調査、花粉分析)のための予備調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古環境調査(地形地質調査、花粉分析)のための予備調査</li> </ul>
文献収集				
資料編基本構成についての検討				
考古部会打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会全体会議</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会全体会議</li> </ul>	

■ 古代中世部会【平成 27 年度活動報告】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
<p><b>実踏調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清瀬市域ほか</li> </ul> <p><b>古文書調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北条氏照文書</li> <li>・大石氏・三田氏関係文書</li> <li>・山内上杉氏関係文書</li> </ul> <p><b>板碑所在・現状確認調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真撮影</li> </ul> <p><b>編集会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班編成(古代班・中世前期班・中世後期班)</li> <li>・資料収集テーマの確認</li> <li>・関係論文確認</li> <li>・作業分担</li> </ul>	<p><b>実踏調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝の城址・清瀬市域寺社</li> <li>・岡の城山</li> <li>・柏の城</li> <li>・十玉坊跡</li> <li>・難波田城公園資料館</li> </ul> <p><b>古文書調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神流川県立公文書館</li> </ul> <p><b>編集会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会議(4・5月)</li> <li>・古代班(5月)</li> <li>・中世前期班(5月)</li> <li>・中世後期班(5・6月)</li> </ul>	<p><b>実踏調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入間市域</li> <li>・安土城跡・浄厳院</li> </ul> <p><b>古文書調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県立金沢文庫</li> <li>・鎌倉国宝館</li> <li>・国文学研究資料館</li> <li>・東京大学史料編纂所</li> <li>・入間市立博物館</li> <li>・安土城考古博物館</li> </ul> <p><b>板碑所在・現状確認調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東光院・円通寺・長命寺</li> <li>・円福寺・博物館</li> </ul> <p><b>編集会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古代班(9月)</li> </ul>	<p><b>実踏調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青梅市三田氏関連史跡</li> </ul> <p><b>古文書調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青梅市郷土博物館</li> <li>・鎌倉 海蔵寺</li> <li>・古河歴史博物館</li> <li>・坂戸 平田家</li> <li>・関宿城博物館</li> <li>・館林 善導寺</li> </ul> <p><b>編集会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中世後期班班(12月)</li> </ul>	<p><b>実踏調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・六日町 管領塚</li> </ul> <p><b>古文書調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さくら市ミュージアム</li> <li>・飯能 平沼家</li> <li>・名古屋大学</li> <li>・和歌山 岡見家</li> <li>・和歌山県立文書館</li> <li>・和歌山県立博物館</li> <li>・国立公文書館</li> <li>・藤沢市文書館</li> <li>・横浜市立大学</li> <li>・青梅 並木家</li> <li>・埼玉県立文書館</li> <li>・小山市立博物館</li> <li>・六日町 雲洞庵</li> <li>・六日町 法音寺</li> <li>・新潟県立博物館</li> </ul> <p><b>編集会議</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古代班(2・3月)</li> <li>・中世後期班(1月)</li> </ul>

■ 古代中世部会【平成28年度活動計画】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
実踏調査 ・八王子城・滝山城 ほか  板碑調査  古文書調査 ・米沢市上杉博物館 ・千葉県立文書館 ・小山市立博物館 ・群馬県立歴史博物館 ・仙台市博物館 ・あきる野市阿伎留神社 ・茨城県立歴史館 ・土浦市立博物館(白田家) ・お茶の水図書館 ・鎌倉国宝館 ・国立公文書館 ・奥多摩町原島文書 ほか  編集会議 ・収録史料の選定 ・解説の具体化 ・体裁・書式の検討	実踏調査 ・滝山城  板碑調査  古文書調査  編集会議 ・全体会議(4月) ・古代班(6月) ・中世前期班(5月) ・中世後期班(5・6月)	実踏調査 ・小山市域  古文書調査  編集会議 ・古代班(8月) ・中世後期班(7・8・9月)	実踏調査 ・青梅市域 ・あきる野市域  古文書調査  編集会議 ・全体会議(10月) ・古代班(10・12月) ・中世後期班 (10・11・12月)	実踏調査 ・八王子城  古文書調査  編集会議 ・古代班(2月) ・中世後期班 (1・2・3月)

■ 近世部会【平成 27 年度活動報告】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
清瀬市内史料調査	村野家文書調査	村野家文書調査		
新座市関係調査	菅沢村佐藤家文書調査・大和田町役場 文書調査	平林寺史料調査	三河吉田藩大河内家文書調査	
東久留米市関係調査			南沢村文書調査	南沢村文書調査
富士見市関係調査				水子村十玉院文書調査
江戸幕府関係調査	『記録御用所本古文書』等調査			『寛永諸家系図伝』等調査

■ 近世部会【平成28年度活動計画】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
市内史料確認調査	月1回×3 博物館収蔵史料調査撮影 整理室保管村野家文書調査	月1回×3 博物館収蔵史料調査撮影	月1回×3 博物館収蔵史料調査撮影	月1回×3 博物館収蔵史料調査撮影
翻刻作業 (翻刻作業を日数換算)		10日分×3	15日分×3	15日分×3
資料編構成の検討	月1回×1			月1回×3
刊行史料確認調査	月4回×3	月4回×3	月4回×3	月4回×3



■近代部会【平成27年度活動報告】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
市民からの聞き取り  新聞記事  文献資料の調査  市役所・博物館所蔵資料調査	清瀬市関係文献資料調査 (国会・文書館ほか)	清瀬市関係文献資料調査 (国会・文書館ほか)	市民からの聞き取り (10月29日)  清瀬市関係文献資料調査(国会・文書館ほか) 市役所所蔵文書調査 清瀬市博物館調査  例:「奇襲漫画慰問旅」(『写真週報』No.161) 例:Kekkaku Yobo Kai Case(Tuberculosis Prevention Association - Kiyose Mura)Aug.1950-June 1951/December 1949 例: Kiyose Branch, 1 January 1949 thru 31	市民からの聞き取り (3月24日)  新聞記事調査(『読売』)  清瀬市関係文献資料調査(国会・文書館ほか)  防衛省防衛研究所 例:外務省外交史料館(「要視察人関係雑纂」一昭和5年・林敏夫)  例:「都市機能整備に関する住民意識調査」(『東商』No.299)

■ 近代部会【平成 28 年度活動計画】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
市民からの聞き取り、資料収集 新聞記事収集等 先行研究、資料集等調査 博物館、図書館所蔵資料調査 市役所公文書、都（近県、国）公文書館調査 近現代金石文調査 市内小中学校所蔵資料調査 病院調査 都内市町村所蔵資料（三鷹市等） 慰霊碑・忠魂碑等 悉皆調査（広報など）				

■現代部会【平成27年度活動報告】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
市民からの聞き取り 博物館所蔵資料の確認 行政文書 公文書保存機関の調査 先行研究・基礎的資料の確認	東京都公文書館所蔵資料確認 大学図書館等にて確認	行政文書目録・閲覧方法確認 大学図書館等にて確認	聞き取りの実施 博物館移管行政文書・ 所蔵文書(日記等)の確認 大学図書館等にて確認	聞き取りの実施 大学図書館等にて確認

■ 現代部会【平成 28 年度活動計画】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
市民からの聞き取り、資料収集	市民からの聞き取り、資料収集	市民からの聞き取り、資料収集	市民からの聞き取り、資料収集	市民からの聞き取り、資料収集
新聞記事収集等	要再検討			
先行研究、資料集等調査	先行研究、資料集等調査	先行研究、資料集等調査	先行研究、資料集等調査	先行研究、資料集等調査
博物館、図書館所蔵資料調査	博物館所蔵史料調査	博物館所蔵史料調査	博物館所蔵史料調査	博物館所蔵史料調査
市役所公文書、都（近県、国） 公文書館調査	調査態勢が整い次第着手			
近現代金石文調査	市内巡見			

市史編さん室

平成 27 年度事業報告及び平成 28 年度事業計画(案)

## 平成27年度 年間事業報告

市史編さん関係
---------

### 1 市史編さん事業の進捗管理

清瀬市史編さんに係る基本方針に基づく、市史編さん事業の推進と進捗の管理。

- (1) 市史編さん委員会の開催・運営（年3回：5月・10月・3月（予定））
- (2) 市史編さん委員会専門部会（考古・古代中世・近世・近代・現代）の運営

### 2 資料収集・整理等

市史編さんの過程において、歴史的資料の収集・整理保存は、次世代への歴史の伝承という観点からも非常に重要である。

今後、専門部会を中心とした市史編さんの具体的な動きの中で、計画的に資料の収集を行い、調査研究及び整理を行っていく。

- (1) 市史編さん委員会専門部会による資料の収集・整理等
- (2) 市民への聞き取り調査の実施
- (3) 各種調査（学校・病院・自治会等）
- (4) 新聞の関連記事の切り抜き収集
- (5) 庁内各課所有資料の整理（秘書広報課・議会事務局）
- (6) 庁内刊行物等の把握と一元的保管の方策の検討

### 3 資料の保存・管理

劣化が進む資料や実物を収蔵できない資料等については、将来的な活用も視野に入れ、デジタルデータ化を図る。

- (1) （町村）議会議事録の目録化（データ化）

### 4 市史編さん事業の普及等

市史編さんの意義や調査・研究の成果等を、より多くの市民に理解いただくための事業を展開する。

また、市民との協働を視野に入れた事業展開を図るよう努める。

- (1) 『(仮称)市史研究』の発行
- (2) 市史編さん室ブログ『市史で候』の定期的更新

## 平成28年度年間事業計画（案）

### 〈市史編さん室〉

#### 1. 市史編さん事業

清瀬市史編さん基本方針に基づき、編さん事業の管理を行う。

##### (1) 市史編さん委員会の開催（年3回）

- ・平成28年度の実施事業、実施計画等について（第1回）
- ・事業進捗、平成29年度予算関係、「市史研究 きよせ」等について（第2回）
- ・平成29年度予算、平成28年度事業報告等について（第3回）

#### 2. 資料調査等

清瀬市史編さんに係る資料の収集や資料調査等を行う。

##### (1) 専門部会の運営

###### 【考古】

- 郷土博物館収蔵資料調査
- 遺跡現地踏査等

###### 【古代中世】

- 現地踏査
- 古文書調査等

###### 【近世部会】

- 郷土博物館収蔵資料調査及び撮影等

###### 【近代・現代】

- 市民からの聞き取り調査
- 新聞記事収集

##### (2) 市史編さんに関する文献等の収集

##### (3) 歴史的公文書の収集・保存

#### 3. 資料の保存・管理

- ・資料の保存・管理についての方策の検討
- ・資料のデジタル化等（旧議事録・写真等）

#### 4. 市史編さん付帯事業の実施

- ・『市史研究 きよせ 第2号』の発行（500部発行予定）
- ・講演会・講座等の検討・実施  
今後の『市史研究 きよせ』に掲載していくためのリレー講演会等
- ・ブログ、Facebookの活用による事業の普及啓発
- ・啓発グッズ等の検討

#### 5. その他

- ・夏休みの子供たちに向けた事業（小イベント等）の検討

以上